

DIGITABLE 第 54 回勉強会レポート

2012 年 4 月 21 日 於：亀戸文化センター 第 1 研修室



平野講師提供の和紙印刷サンプルの違いを皆で検討

Digitable 基礎講座「デジタルカメラの原理と基本概念」：高木大輔講師
参加者全員による“ライトニングトーク”（持ち時間 3 分）
Photoshop 研究講座「和紙印刷を試す」：平野正志 講師

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>

Digitable 基礎講座 2012 第 1 回 デジタルカメラの原理と基本概念 ：高木大輔講師（APA 会員）

○デジタル画像の生成

デジタルカメラに使われる、CCD や CMOS は光の強弱を感じるだけで色に関する情報は持っていない。一般的なデジタルカメラは、ベイヤー配列のカラーフィルターを通して CCD が感光するしくみとなっているが、RGB の各色の元情報は配列上歯抜けたものになっていて、それぞれのチャンネルで周辺の画素の情報から計算して RGB 全チャンネルの情報を持った画像を作り出している。

○JPEG と RAW、デジタルカメラのワークフロー

JPEG による撮影の場合、適正な露出やホワイトバランスを完璧に近い形で決定する必要があり、場合によっては段階露光、段階ホワイトバランス撮影をしておくことも有効だ。RAW 記録の場合は、露出に関してはオーバー 1/2、アンダー 1 絞り程度の余裕があり、ホワイトバランスもおおまかに合っていれば詳細な調整は後からでもよい。撮影時に気を使う必要はないが、かわりに撮影後の現像処理という工程が増える。撮影スタイルを決定した際に、撮影後のワークフローも同時に決定されることになる。

○用途で使い分ける画像サイズ

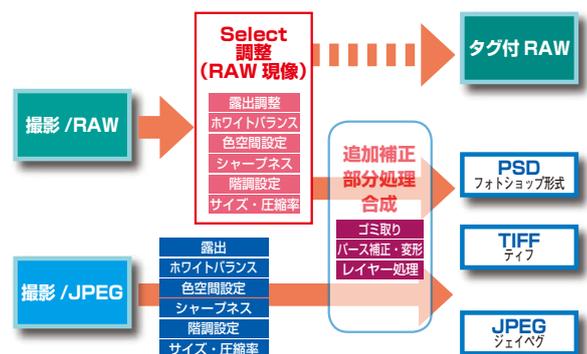
デジタル画像を使用するとき、重要な要素が画像サイズと解像度である。今日主流の 1200 万画素のデータは RGB モードでも 35MB 近くあり、まとまった数を日常のビジネスで何枚もやりとりしたり閲覧するには、用途に応じて画像サイズを使い分ける必要がある。

デジタルブログでも、全体の幅を 960 ピクセルで作成するようにホームページやブログに表示される画像サイズはとても小さい。

講師は、記録や資料・テキスト、ホームページの制作には SXGA サイズ = 1280 × 850 ピクセルを基準にしてきか、通常のメールや WEB を使った写真のやりとりを含む仕事の場合は、いちいち送付用にサイズを調整したりする手間もなくなりたいへんに効率的だ。



RGB の各色の元情報は歯抜けたものだが周辺の画素の情報から演算して画像を作り出している



撮影スタイルにより撮影後のワークフローも変わる



デジタルブログでも、全体の幅を 960 ピクセルで作成している。左は 670、右は 320 の画像を二枚

参加者全員による“ライトニングトーク”

今回は持ち時間は1人あたり3分間。ビジター2人を含む全員が発表し、PCや各自の撮影写真などを使用して、工夫を凝らした発表が多かった。

...

KS 会員・肺炎と胃ろうの究極の選択について

YA 会員・動画のためのフルHDビデオカメラの性能について

EY 会員・ペローズアタッチメント使用のD90アオリ撮影

KM 会員・連続撮影機能のあるカメラを使用したパノラマ写真と一眼レフで5枚あわせた合成写真の違いについて

NY 会員・葛飾わいわいフェスティバルで撮影した人々の笑顔
ビジター NS さん・上海から留学してきて1年とのこと、日本語がとても上手でした

IF 会員・野川の風景、早春から桜。Bridge デ制作のスライドショー
ビジター TY さん・本講義に参加した率直な感想

TE 会員・建築物の外観と内観の撮影、窓に遮光したりなど工夫

SY 会員・新型iPadを用いた撮影とコンパクトフラッシュからiPadへのワンタッチの画像取り込み方、皆が便利だと大絶賛

...

尚、ライトニングトークを生かすため、毎月の内容を新規のBlog上でも展開して行くことになった。

Photoshop 研究講座：「和紙印刷を試す」

平野正志 講師

多種ある和紙の中で、写真用として使用できそうな13銘柄を比較した。普段使い慣れている写真用紙などの緻密な描写とは異なり、独特の柔らかさや質感を持つ表現となる。

今回試した中では越前和紙のフォトインクジェット用紙が、写真の再現性という意味では光沢紙に近い結果となった。

○和紙の裏面印刷：同じ和紙でも表と裏で質感が異なるため、用紙の裏面印刷も試みたが、裏面でも和紙独特の色調などのにじみなどはさほど変わらなかったのは以外であった。インクジェット印刷用に調整した和紙の製法に関するのかもしれないが、表面の表面加工の問題ではなさそうだという事が分かる。

○黒の最高密度部分の問題：和紙全般に言えることだが、黒の濃度のごく濃い部分ではインクの染み込みが少ないためか、インクの乗りすぎでインクの反射が気になる部分があった。○A和紙といわれるような一般的な用紙には同様な部分でのインクの反射がさほげにならないが、これは写真印刷用和紙との製法の違いかと思われる。和紙印刷では、印刷する写真の最高濃度の調整が必要かもしれない。

○結論：高品質の再現性を求めるならインクジェット印刷特性のある画材用紙の方に軍配は上がりそうにも感じるが、和紙独特のテクスチャーに期待もしたい。和紙独特の表現方法や、紙の質感を研究、実検することの必要性を感じる。

今回和紙を用いた印刷の違いについて多くのサンプル和紙の比較の紹介があり、皆で違いを検討した。(TY 記)



今月の1枚：EY 会員の発表から、ペローズアタッチメント使用のD90アオリ撮影の解説。「引き伸ばし用のレンズを使用してピントもバッチリ！」だそうです



iPadへのワンタッチの取り込みを皆で学習



カラー印刷用（上）とモノクロ印刷用チャート



和紙印刷サンプルの違いを皆で検討